

## 小学校 知的障害特別支援学級 国語科学習指導案

- 1 単元名 心がずきん！私の心に残ったこの場面  
～「心がずきん！ブック」を作り、一番心に残った場面を紹介しよう～
- 2 教材名 ちいちゃんのかげおり（光村図書3年下）  
並行読書（かわいそうなぞう、えんぴつびな、かあさんのうた、ひろしまのピカ、仲ちゃんの三輪車、すみれ島、さようならカバくん、わたしのヒロシマ他）
- 3 目標
- (1) 単元目標
- 物語を読み、心に響いた場面やその理由を紹介し合おうとする。  
(国語への関心・意欲・態度)
  - 「心がずきん！ブック」を作るために、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を想像して読み、心に響いた場面やその理由についてまとめることができる。  
(読むこと)
  - 心に響いた場面やその理由を発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。  
(読むこと)
  - 相手に自分の考えが伝わるように、言葉を選んだり考えたりして紹介している。  
(1) 一イー(ア) (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)
- (2) 個別目標

児童	短期個別指導目標	単元における個別指導目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み仮名を振った当該学年の教科書をスムーズに、気持ちを込めて音読できる。</li> <li>・文章に書かれている内容のあらましについて捉えることができる。</li> <li>・自分の考えを一人でまとめ、しっかりととした声で発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を捉えることができる。</li> <li>・場面や登場人物の様子や気持ちを想像して、気持ちを込めて音読することができる。</li> <li>・一番心に響いた場面や登場人物の気持ちに合った色を選び、選んだ理由をまとめて発表することができる。</li> <li>・友達の発表を聞いて、感想を書いてまとめ、発表することができる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み仮名を振った当該学年の教科書をスムーズに、気持ちを込めて音読できる。</li> <li>・文章に書かれている内容のあらましの大体について捉えることができる。</li> <li>・自分の考えを教師の助言を基にまとめ、しっかりととした声で発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化の大体について捉えることができる。</li> <li>・場面や登場人物の様子や気持ちを想像して、気持ちを込めて音読することができる。</li> <li>・一番心に響いた場面や登場人物の気持ちに合った色を選び、選んだ理由を教師の助言を基にまとめて発表することができる。</li> <li>・友達の発表を聞いて、感想をもつことができる。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み仮名を振った当該学年の教科書をゆっくり、気持ちを込めて音読できる。</li> <li>・文章に書かれている内容のあらましについて教師と一緒に捉えることができる。</li> <li>・自分の考えを教師と一緒にまとめ、しっかりととした声で発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を教師と一緒に捉えることができる。</li> <li>・場面や登場人物の様子や気持ちを想像して、気持ちを込めて音読することができる。</li> <li>・一番心に響いた場面や登場人物の気持ちに合った色を選び、選んだ理由を教師と一緒にまとめて発表することができる。</li> <li>・友達の発表を聞いて、教師とやりとりをすることで自分の感想をまとめることができます。</li> </ul>

### 4 単元について

#### (1) 単元を貫く言語活動とその特徴

小学校学習指導要領・国語の第3学年及び第4学年「C読むこと」の指導事項の中から、特に「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」及び「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」をねらいとした。その際、「C読むこと」の言語活動例に示す「エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。」を通して、指導の効果を高めようと考えた。

本単元では戦争と平和について書かれた物語を読み、「心がずきん！ブック」を作る活動を単元を貫く言語活動として位置付けた。本単元で取り上げる「心がずきん！ブック」は、「心にずきんと響く叙述」「ずきんと響いた理由」を書いた本の紹介リーフレットである。

物語の中で一番心に響いた場面から、その場面や登場人物の気持ちに合った色画用紙を選び、その色画用紙に挿絵と叙述と理由をまとめていく。そして自分の考えを友達に紹介する活動を通して、「叙述を基に想像して読み、考えたことを交流することを通して、一人一人の感じ方の違いに気付く力」を付けたいと考える。

## (2) 単元設定の意図

本学級の在籍児は、5名である。国語の時間は、それぞれの実態に応じた計画を基に、個別学習や小集団学習に取り組んでいる。6年生は当該学年教科書を使用し、漢字の習得、音読練習、簡単な読みの学習等を行っている。今回は6年生3名の小集団での学習を中心に、個別による学習との組み合わせによってねらいに迫りたいと考え、本単元を設定した。

国語（読むこと）についての児童の実態は、以下のとおりである。3年のCRTテストの読む能力についての問題をプレテストとして実施した。

児童	実 態
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該学年の漢字の読み書きが90%程度できる。</li> <li>気持ちを込めて音読することは難しいが、読み仮名を振った当該学年の教科書をスムーズに読むことができる。</li> <li>出来事や登場人物の気持ちの変化の大体について想像して読むことができる。</li> <li>語彙は多くないが、思いや考えを詳しく伝えようと言葉を選んで話したり書いたりすることができる。</li> <li>プレテスト 正答率85%（3年）</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該学年の漢字の読み書きが80%程度できる。</li> <li>気持ちを込めて音読することは難しいが、読み仮名を振った当該学年の教科書をスムーズに読むことができる。</li> <li>出来事や登場人物の気持ちの変化などを教師の助言を基にしながら想像して読むことができる。</li> <li>語彙が少なく、話の内容や筋道があいまいな時があるが、自分の思いや考えを相手に伝えようと努力する。考えを文章にまとめることができる。</li> <li>プレテスト 正答率46%（3年）</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生までの漢字の習得は50%程度である。</li> <li>読み仮名を振った当該学年の教科書をゆっくり読むことができる。練習すれば、気持ちを込めたり抑揚を付けたりして音読できる。</li> <li>出来事や登場人物の気持ちなどを教師と一緒に、想像して読むことができる。</li> <li>語彙は少ないが、自分の思いや考えを言葉で相手に伝えようとじっくり考えて話すことができる。考えを文章にまとめることは難しい。</li> <li>プレテスト 正答率31%（3年）</li> </ul>

3名は昨年度「わたしはおねえさん」という物語教材文で、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などを想像して読む学習を行った。主人公の行動や会話文から場面の様子を想像し、その場面に合った色の画用紙を選んで紙芝居を作るという活動を通して、登場人物の気持ちの変化に着目して読むことができた。しかし、登場人物の気持ちに合った色を選ぶ活動では、色のイメージの例を提示しても適した色が選べなかつたり、その色を選んだ理由がはっきり述べられなかつたりした。それは気持ちの変化を捉える力が十分に身に付いていなかつたり、気持ちを表す語彙が少なかつたりしたことから、自分の考えや思いを言葉で表現するのが難しかつたことが理由として考えられる。

上記のような児童の実態から、本単元では光村図書3年生下の「ちいちゃんのかげおくり」と、戦争と平和に関する本を教材として活用したい。「ちいちゃんのかげおくり」は、場面の移り変わりやちいちゃんの様子などが想像しやすい教材である。また、並行読書に選定した戦争と平和について書かれた本は、いずれも戦争の悲惨さや戦中・戦後の人々の苦しみが書かれており、登場人物の気持ちの変化や場面の移り変わりを想像しやすく、児童の心情に訴える作品である。

指導にあたっては、まず第1次で戦争についての物語の読み聞かせをする。また、教師が作成した「心がずきん！ブック」を紹介し、これから学習への見通しをもたせたい。第2次では、教科書教材文「ちいちゃんのかげおくり」を読み、時を表す言葉に着目して場面の移り変わりを捉え、ちいちゃんの言葉や行動から気持ちの変化を想像して読ませたい。そして自分が一番心に響いた場面を選び、その理由とともに「心がずきん！ブック」に書くようにする。そして、書いたものをお互いに紹介し合うことで、一人一人の感じ方に違いがあることに気付かせたい。

第3次では、並行読書作品の中から各自がみんなに紹介したい本を選び、第2次での学習を基に「心がずきん！ブック」を作らせたい。そしてそれが感じたことを交流することで、感じ方に違いがあることに気付かせたい。以上のような単元を構想することを通して、「叙述を基に想像して読み、考えたことを交流することを通して、一人一人の感じ方の違いに気付く力」を付けたいと考える。

## 5 評価規準

関心・意欲・態度		読む能力	言語についての知識・理解・技能
A	<p>①「心がずきん！ブック」を作るために作品を読み、心に響いた場面や理由をまとめたり、理由を紹介し合ったりしようとしている。</p> <p>②学習課題を理解し、自分自身の目標を意識して学習に取り組んだり、振り返りをしたりしようとしている。</p>	<p>③「心がずきん！ブック」にまとめるために、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を想像して読んでいる。</p> <p>④「心がずきん！ブック」を紹介し合うことを通して、一人一人の感じ方の違いがあることが分かる。</p>	⑤「心がずきん！ブック」の紹介文を書く際には、自分の気持ちや思いを相手に伝えることができるよう、言葉を考えて表現している。
B	<p>①「心がずきん！ブック」を作るために作品を読み、心に響いた場面や理由をまとめたり、理由を紹介し合ったりしようとしている。</p> <p>②学習課題を理解し、自分自身の目標を意識して学習に取り組んだり、振り返りをしたりしようとしている。</p>	<p>③「心がずきん！ブック」にまとめるために、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を教師の助言を基に想像して読んでいる。</p> <p>④「心がずきん！ブック」を紹介し合うことを通して、一人一人の感じ方に違いのあることに気付いている。</p>	⑤「心がずきん！ブック」の紹介文を書く際には、自分の気持ちや思いを相手に伝えることができるよう、教師の助言を基に言葉を考えたり選んだりして表現している。
C	<p>①「心がずきん！ブック」を作るために作品を読み、心に響いた場面や理由をまとめたり、理由を紹介し合ったりしようとしている。</p> <p>②学習課題を理解し、自分自身の目標を意識して学習に取り組んだり、振り返りをしたりしようとしている。</p>	<p>③「心がずきん！ブック」にまとめるために、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を教師と一緒に想像して読んでいる。</p> <p>④「心がずきん！ブック」を紹介し合うことを通して、一人一人の感じ方に違いのあることに気付いている。</p>	⑤「心がずきん！ブック」の紹介文を書く際には、自分の気持ちや思いを相手によく伝えることができるよう、教師と一緒にやりとりをしながら言葉を考えたり選んだりして表現している。

## 6 指導および評価の計画（11時間扱い）

次	時	学習内容・活動	評価規準		
			A	B	C
1 導入	1	<p><b>【戦争と平和についての物語にふれ、これからの学習の見通しをもつ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○戦争と平和についての物語の読み聞かせを聞く。</li> <li>○教師が作成した「心がずきん！ブック」の紹介を聞く。</li> <li>○これから学習の見通しをもち、学習課題と学習計画を立てる。</li> <li>・学習課題「『心がずきん！ブック』を作り、一番心に残った場面を友達に紹介しよう」を設定する。</li> </ul>	②	②	②
2 習得	2 3 4 5 6	<p><b>【ちいちゃんのかげおくり】を読み、「心がずきん！ブック」を作る】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ちいちゃんのかげおくり」を読み、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を捉える。</li> <li>○一番心にずきんときた場面を選び、その場面に合った色と選んだ理由を考える。</li> <li>○「心がずきん！ブック」を作り紹介し合う。</li> </ul>	③  並行 読書	③  ① ⑤  ④ ②	③  ① ⑤  ④ ②
3 活用	7 8 9 10 11	<p><b>【並行読書作品で「心がずきん！ブック」を作る】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○並行読書作品の中から友達に紹介したい本を選び、場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を捉える。</li> <li>○一番心にずきんときた場面を選び、その場面に合った色と選んだ理由を考える。</li> <li>○「心がずきん！ブック」を作り、紹介し合う。</li> </ul>	③  ① ⑤  ④ ②	③  ① ⑤  ④ ②	③  ① ⑤  ④ ②

## 7 本時の学習

### (1) 目標

自分が選んで読んだ本の中で一番心に残った場面を選び、その場面に合った色とその理由を友達に紹介したり、友達の紹介を聞いて感想を伝えたりすることができる。

(2) 個人目標

A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で一番心がズキンとした場面や登場人物の様子に合った色を選び、選んだ理由を自分でワークシートにまとめて発表することができる。</li> <li>友達の発表を聞いて、感想を書いてまとめ、発表することができる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で一番心がズキンとした場面や登場人物の様子に合った色を選び、選んだ理由をワークシートに、教師の助言を基にまとめて発表することができる。</li> <li>友達の発表を聞いて、感想をもつこができる。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で一番心がズキンとした場面や登場人物の様子に合った色を選び、選んだ理由をワークシートに、教師と一緒にまとめて発表することができる。</li> <li>友達の発表を聞いて、教師と一緒にまとめて発表することで自分の感想をまとめることができます。</li> </ul>

(3) 準備

学習計画表(ふり返りカード)、ワークシート、語彙シート、例文シート、色画用紙、叙述文、挿絵、発表用モデルシート

(4) 展開

【○補充的指導 ○発展的指導 評価】

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価						
1 本時のめあてを確認する。 心がズキンとした場面とその場面に合った色を選び、その理由をみんなに紹介しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒板にめあてと教師が作成した例を提示することで、本時のめあてを理解できるようにする。</li> </ul>						
2 心がズキンときた場面とその理由を考え、発表する。 (1) 前時で決めた自分が一番心がズキンときた場面と、その場面に合う色を確認する。 (2) その場面と色を選んだ理由を考える。 〈予想される児童の反応〉 ・登場人物が一人ぼっちになってしまい場面を選びました。この場面を選んだ理由はとてもかわいそうだと思ったからです。色は青を選びました。この色を選んだ理由は寂しそうな感じがしたからです。 ・空襲の場面を選びました。この場面を選んだ理由はとてもこわかったからです。色は赤を選びました。この色を選んだ理由は火事が思い浮かんだからです。 (3) 色画用紙に選んだ場面の叙述と挿絵、理由を書いたワークシートを貼る。 (4) 心がズキンとした場面とその理由について発表し合い、友達の発表を聞いての感想をワークシートにまとめる。 〈予想される児童の感想例〉 ・私は○○さんの発表を聞いて、登場人物が一人ぼっちになってしまい場面を選んでかわいそうだから青色にしたというのがなるほどと思いました。 ・私は○○さんの発表を聞いて、空襲の場面の怖さと色を赤にしたのがぴったり合っていると思いました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙の色は、情景から想像しても、登場人物の様子から選んでもよいことを説明する。</li> <li>登場人物の気持ちで色を選ぶ際には、色を選ぶ視点の例を提示し、児童が色のイメージをもつたり確認したりできるようにする。 「赤」のプラスのイメージ・・・元気、じょうねつ 「赤」のマイナスのイメージ・・・怒り、きけん ○理由を書くのが難しい場合は、気持ちを表す語彙シートや例文を参考に書くよう助言する。 ○自分の考えをまとめるのに時間を要するCには、教師が寄り添って一緒に考えて支援する。 ・児童司会で発表が進められるように、発表の手順シートを用意する。 ○感想をまとめるのが難しい児童には、語彙シートや例文を参考にまとめていくよう助言する。 ・ワークシートは発表後に交換し、友達の感想を参考に自分の考えを見直すよう助言する。</li> </ul>						
3 本時の学習を振り返る。 (1) 今日の学習を振り返って反省を選択し、頑張ったことや分かったことを書く。 (2) シートに書いたことを発表する	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の様子に合った色を自分で選び、理由をワークシートに自分でまとめて発表することができます。</li> <li>友達の発表を聞いて、感想を書いてまとめ、発表することができます。【発表、観察、ワークシート】</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>B</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の様子に合った色を選び、選んだ理由をワークシートに教師の助言を基にまとめて発表することができます。</li> <li>友達の発表を聞いて、感想をもつこができる。</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>C</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の様子に合った色を選び、選んだ理由をワークシートに教師と一緒にまとめて発表することができます。</li> <li>友達の発表を聞いて、教師と一緒にまとめて発表することで自分の感想をまとめることができます。</li> </ul> </td></tr> </table> <p>○活動が進んだ児童には、「心がズキン！ブック」の作成に取り組むよう促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習計画表の振り返り欄で反省を選択し、分かったことや頑張ったことを書く活動を通して、本時の学習を振り返ることができるようする。</li> <li>がんばったことを認め、次時への意欲付けにする。</li> <li>次時はブックを完成させ、お互いのブックを紹介し合う活動をすることを伝え、次の意欲につなげたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の様子に合った色を自分で選び、理由をワークシートに自分でまとめて発表することができます。</li> <li>友達の発表を聞いて、感想を書いてまとめ、発表することができます。【発表、観察、ワークシート】</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の様子に合った色を選び、選んだ理由をワークシートに教師の助言を基にまとめて発表することができます。</li> <li>友達の発表を聞いて、感想をもつこができる。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の様子に合った色を選び、選んだ理由をワークシートに教師と一緒にまとめて発表することができます。</li> <li>友達の発表を聞いて、教師と一緒にまとめて発表することで自分の感想をまとめることができます。</li> </ul>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の様子に合った色を自分で選び、理由をワークシートに自分でまとめて発表することができます。</li> <li>友達の発表を聞いて、感想を書いてまとめ、発表することができます。【発表、観察、ワークシート】</li> </ul>						
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の様子に合った色を選び、選んだ理由をワークシートに教師の助言を基にまとめて発表することができます。</li> <li>友達の発表を聞いて、感想をもつこができる。</li> </ul>						
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の様子に合った色を選び、選んだ理由をワークシートに教師と一緒にまとめて発表することができます。</li> <li>友達の発表を聞いて、教師と一緒にまとめて発表することで自分の感想をまとめることができます。</li> </ul>						